

オンラインストレージのご提案



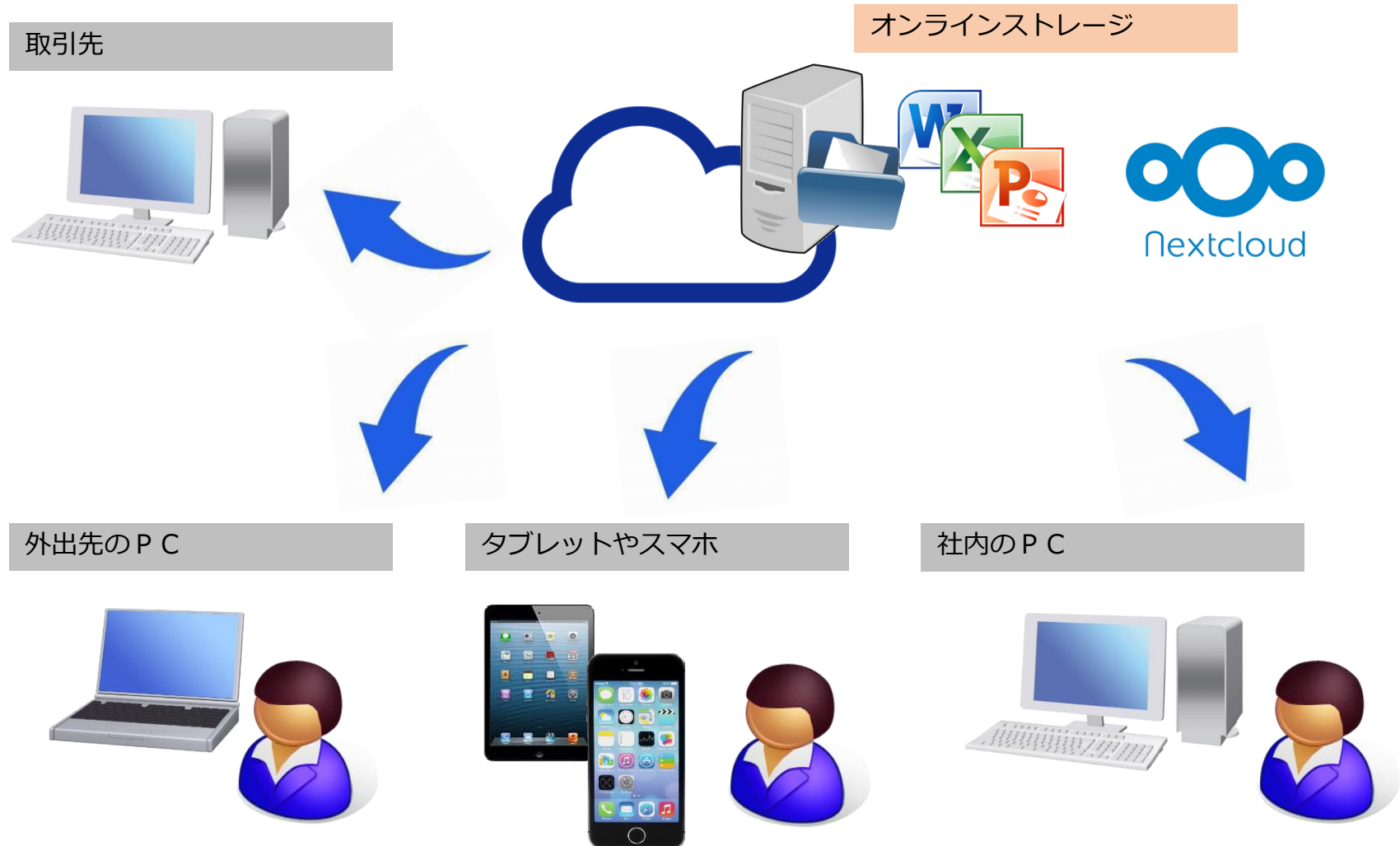
アイデックス株式会社

目次

1. オンラインストレージとは
2. 取引先への安全なファイル送信
3. オンラインストレージでできること
4. Nextcloudを利用します
5. オンラインストレージ導入のメリット①
6. オンラインストレージ導入のメリット②
7. 他社サービスとの違い
8. 安全なデータセンターを利用
9. グループウェアとしても利用可能
10. オンラインストレージで出来るセキュリティ対策
11. オンラインストレージとファイルサーバーの比較①
12. オンラインストレージとファイルサーバーの比較②
13. オンラインストレージとファイルサーバーの比較③

オンラインストレージとは

オンラインストレージとは、インターネット上に設けられた専用のスペース(サーバ)に、写真やファイルなどのデータを預けられるサービスです。



取引先への安全なファイル送信

メールに添付できない大容量のデータを送る際、
気軽に外部のファイル送信サービスを利用していませんか？

オンラインストレージは自社ドメイン・専用サーバーで**安全**に利用できます。



オンラインストレージでできること

- 取引先への安全な大容量ファイル送受信
- ファイルの共有
- データのバックアップ
- 詳細なアクセス権限の設定



Nextcloudを利用します

Nextcloud(ネクストクラウド)とは、オンラインストレージ機能を提供するサーバソフトウェアです。オープンソースで提供されています。

オンラインストレージは大きく分けて、「サービス型」と「インストール型」に分けられます。サービス型は「Dropbox」「Google Drive」「OneDrive」などのサービスです。

サービス型の問題点

- ・自分のデータがどこに保管されているのか分からない
- ・事件/事故などにより情報漏洩のリスクがある
- ・他国のサーバの場合、その国の法規制上の制約を受ける場合がある
- ・有料サービスの場合、コストが発生する

これに対して、「インストール型」のNextcloudは、自社専用サーバにインストールして使用するため、「プライバシー」「セキュア」「柔軟性」「拡張性」に優れています。



オンラインストレージ導入のメリット①

1. どのデバイスからもファイルにアクセス
パソコンはもちろん、スマホ、タブレットからもファイルにアクセスできます。
2. どこからでもファイルにアクセス
事務所内、外出先や自宅など、インターネット環境があればファイルにアクセスすることができます。
3. オフラインでも使用可能
クライアントアプリをインストールすれば、パソコンやファイルサーバーにファイルを同期できます。
4. ファイルの一元管理
従来バラバラで管理されていたファイルが一元管理することができます。
一元管理することで社員の情報統制がしやすくなります。
5. 外部とのデータ受け渡しにも最適
「宅ファイル便」や「GigaFile便」などを利用される方は多いと思いますが、ファイルを受け取る相手への信頼性という面で不安があるのではないのでしょうか？

オンラインストレージ導入のメリット②

6. サーバー管理、運用業務が不要

自社サーバーを設置するのと異なり、サーバーを管理・運用する業務は必要無くなり、余分な仕事を削減できます。

7. 自動的にバックアップ

自動でバックアップを行っていますので、万一サーバーに障害が発生した場合でも安心です。

8. 万一の際のバックアップとして使える

最近はリスクヘッジのためにオンラインストレージを導入する人も増えています。データを手元だけでなく外部に保管することで、万一災害が起こった時のためのバックアップになります。

9. 導入コストが低く、早い

サーバーを用意することに比べ、低コストで導入できます。
導入したいと思ったらすぐに導入できます。

10. コストがわかりやすい

月額料金制となっているため、毎月どのくらいのコストがかかるのかわかりやすくなっています。

月額制なので一度稟議を通せばその後請求額を気にする必要はなくなります。

他社サービスとの違い

1. 専用サーバ

多くのオンラインストレージは共有サーバを使用していますが、弊社のオンラインストレージは専用サーバです。他社との共存が無く、セキュリティの面で安心です。また、パフォーマンスも保障できます。

2. 自社ドメインで運用可能

自社ドメインで運営できますので、信頼度がアップします。

＜例＞ <https://storage.aidex.jp/~>

3. 業界最安値

専有サーバーかつ、ユーザー数無制限のオンラインストレージでは業界最安値です。

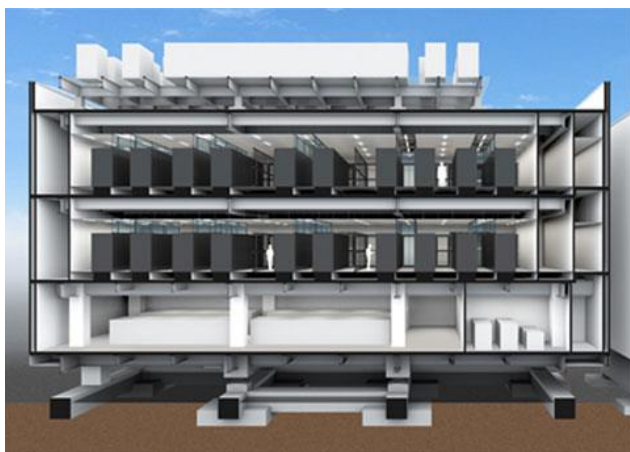
4. 地場企業での提供

Face to Faceでの綿密な打合せで安心して導入できます。また、万一のトラブルの際も、すばやく現場へ駆けつけることができます。

安全なデータセンターを利用

MiraiDC
MiraiInternetDatacenter

業務提携先の
ミライデータセンター



安心の国内ISO/IEC27001(ISMS)取得
済みのDC。
非常用自家発電機で停電対策、免震装
置による大規模地震対策、侵入防止、
入退館管理

グループウェアとしても利用可能

Nextcloudのアプリを組み合わせ、グループウェア機能を持たせることが可能です。

- 連絡先
- カレンダー
- メッセージ送受信
- タスク管理
- トーク
- ワークフロー機能



オンラインストレージで出来るセキュリティ対策

機器の盗難

サーバーはデータセンターに設置され、入退室の生体認証管理、24時間の有人監視下に置かれますので、盗難に遭うリスクが極めて低いです。

ウィルス・不正ソフトの被害

ファイルの変更履歴を自動で保存しますので、ランサムウェア等によりファイルを書き換えられても復元できます。

データの流出

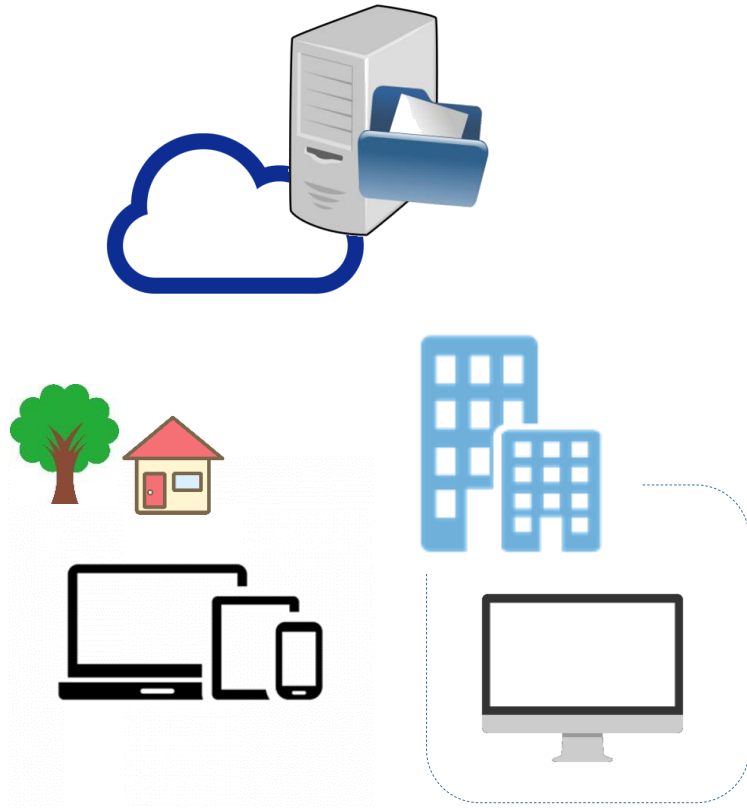
アクセス権を細かく設定する事により、無関係なデータへのアクセスを制限できます。これにより、内部からのデータ流出を防止できます。

不正アクセス

ユーザー毎の専用サーバー、SSLによる通信の暗号化、ファイアウォールによる不正な通信の遮断、ユーザーID・パスワードによるログイン認証、2段階認証などの対策で不正アクセスを防止します。

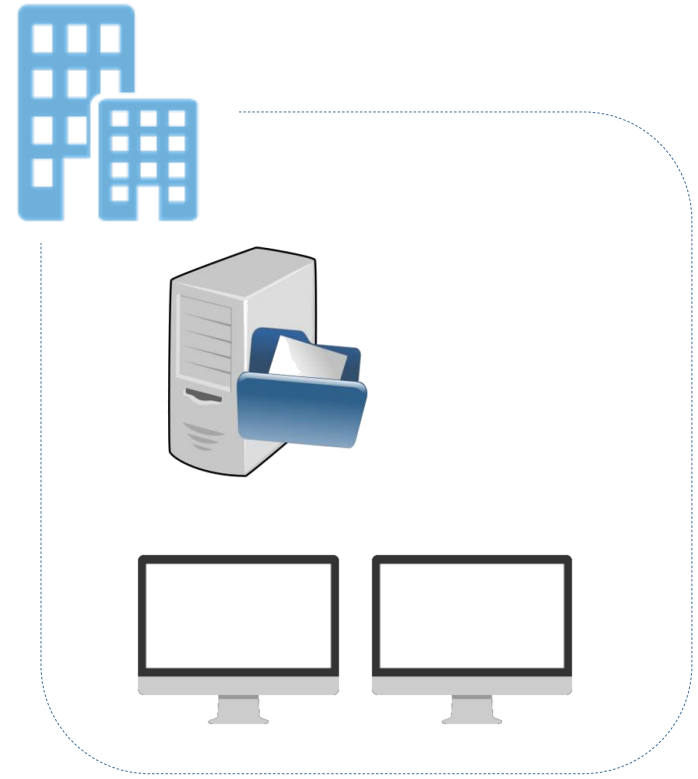
オンラインストレージとファイルサーバーの比較①

オンラインストレージ



データセンターに設置した専用サーバーにデータを保管します。
インターネットを経由し、場所や端末を選びません。

ファイルサーバー



社内に設置したサーバーにデータを保管します。
社内のパソコンからデータを利用します。

オンラインストレージとファイルサーバーの比較②

	オンラインストレージ	ファイルサーバー
導入コスト	安 サーバーの購入費がかかりません、またデータセンターへの設置・設定なので、コストを抑えられます。	高 サーバーの購入費の他、社内に設置する為の環境整備や出張費等がかかります。
運用コスト	月額固定 運用からトラブル対応までの全てのコストを平準化できます。	固定費＋不測の出費 リース代や電気代の固定費に加え、トラブル発生時の技術者の出張費、社内人員に係るコストなど、予測し辛い。
管理	不要 データセンターは停電の心配がありません、機器の故障等は24時間対応します。	必要 長期休暇や停電時の対応、OSの更新等の対応、適切な室温管理等の対応が必要です。
バックアップ	管理不要 バックアップが正常に取得できているか定期的にチェックし、問題の早期発見解決を行います。	適切な管理が必要 バックアップ先の残容量不足や、機器の故障、OSの更新等の影響でバックアップが正常に取得できなくなることがあります。
利用場所	いつでも、どこでも インターネットに接続できる環境さえあればいつでも、どこでもデータにアクセスできます。	社内ですき使えない 外部から使用する為には、別途VPN等の導入が必要です。
利用端末	PC、スマホ、タブレット 無料の専用アプリを使い、スマホやタブレットからも利用できます。またパソコンのローカルフォルダと同期することもできます。	PCのみ

オンラインストレージとファイルサーバーの比較③

	オンラインストレージ	ファイルサーバー
複数拠点	一元管理できる 複数拠点のユーザーを一元管理できます。異動等の組織変更にも柔軟に対応できます。	拠点ごとに管理 拠点のファイルサーバーごとにアクセス権の管理が必要です。またはADサーバー等の導入が必要です。
アクセス権の設定	簡単に設定できる ユーザー毎、フォルダ毎、ファイル毎、プロジェクト毎等、簡単にアクセス権を設定できる。	設定が大変 Windowsのユーザーを作成し、フォルダ毎にアクセス権を設定する。ADを導入するなど大変。